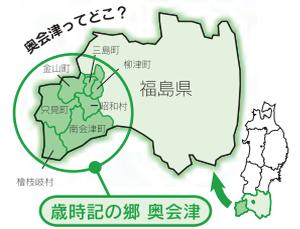


奥会津だより



カボチャのツルが伸びる土手は
田の畔に続く
丹念に草を刈る日々を重ねて
たゆまぬ手のあとだけが残った
静かにつつましく夏が盛る

八所神社御遷宮記念写真より

只見町立朝日小学校 五年 馬場 滉大

この写真は、昭和二十七年九月三日の祭りの日の写真です。今でも、只見町では、九月五日は町祭礼として各地区で祭りが行われています。

ぼくのじいちゃんは、後ろの列の右から三番目です。ぼくは、御遷宮についてじいちゃんに聞いてみました。

・御遷宮とはどんな祭りですか。
—二十一年に一度の祭りで、神社を直したりする祭りのことだ。

・写真はどこでとった写真ですか。
—黒谷の八所神社の前でとった写真だ。

・じいちゃんが何歳のときですか。
—今から、六十三年前の二十歳のときの写真だべや。

・今と昔のちがいは何ですか。
—昔はなあ、浴衣を着て、しりっぽしりっぽして、ねじりはちまきをして、ズックなんかかねえがら、げた、わらじ、足なしかなかったからそれをはいてみこしをかっいだだ。そして、親方がいて祭りを取りしきつた。その人は、七十四歳だったな。そのころは、人生五十年といわれているところだったから、七十四歳つてのは高れいだったなあ。

・じいちゃんは、何回御遷宮に出たんですか。
—昔の人は、三回御遷宮に出やった人は、運がいいどつて言われた。じいちゃんは四回出たぞ。

—昔の人は、三回御遷宮に出やった人は、運がいいどつて言われた。じいちゃんは四回出たぞ。

ぼくも五年前に御遷宮祭りに参加したことがあります。じいちゃんは四回も出ています。それだけ、長生きで元気だということ。ぼくも、じいちゃんみたいに四回出てみたいです。

昔の人は、たくさんの友だちと協力して御遷宮をやりましたが、ぼくが大人になったときに御遷宮に出られる人がたくさんいるのか心配です。

神社は、高い所に建っています。いつまでもみんなを見守ってくれているものだと思います。

取材ノート



Q:「ハッショ」神社というのですね？

—夫さん: そう、ハッショジンジヤ、只見町ではここ一つだけです。

Q:二十七年の「御遷宮」の時は、大規模な改修があったのでしょうか？

—夫さん: この時は、そんなに直さないなあ。尾形忠兵という人が七十四歳で親方。この人が仕切つてあつた。人生五十年といわれている時だから、素晴らしい長生きの人であつたよ。

Q:長老ですね。

—夫さん: そうですよ。

Q:昭和二十七年に撮られた写真ですね。

—夫さん: 終戦、七年後か。小学校六年生の頃、戦争が終わつた。

Q:孫さんと同じくらい年の頃の記憶にあることは？

—夫さん: 食い物が無かつたから、ひどかつたなあ、その当時は。米は配給だべし、学校に行くのだから、弁当持っていくけなかつた。おかゆみたい

祖父: 馬場 一夫(いちお)さん
(昭和八年生 八十二歳)
孫: 馬場 滉大(こうだい)君
(平成十六年生 十二歳)
(朝日小六年)

Q:のをビンさ持つて行つた。

—夫さん: 弁当でなくてビン？

—夫さん: おかゆだから、弁当ではこぼれちまう。だから、蓋はコルクのやつ。

Q:甘い物とかお菓子とは？

—夫さん: 終戦の頃、甘い物。学校さ行くと、鯨の油なのか進駐軍から配給になつた。肝油ドロップをもらった。栄養失調になる人がいたから女の子なんか頭にシラミがたかつてなあ。男は坊主頭だが女の子はDDT降られてなあ。校庭では野球も駆け足も出来ない。豆やジャガイモ、サツマイモを作つていたから。

Q:学校の校庭が殆ど畑ですか？

—夫さん: 忠魂碑と奉安庫の所に行く道だけはあつた。奉安庫にみんな頭下げてなあ、中さ何が入つていたんだべなあ。

Q:終戦の記憶は？

—夫さん: 戦争終わつて、負けたみんな泣いた。がっかりして涙流して。新潟の長岡が空襲の時、その浅草山の向こう側が真っ赤になつて見えた。凄かつた。

Q:「足なかしかなかつた」という「足なかし」というのは？

—夫さん: 草履みたいなやつ。ワラで編んで、足の半分ぐらしか無かつたから「足なかし」という。昔は、それ履いてカジカ獲りをやつた。川の中で、石の上も滑らないからいいんだ。足なかしは、じいさまが作つてくれた。毎日履

いて、五、六日もつたかなあ。
Q:滉大君、じいちゃんから話を聞いてみてどうでしたか？
—滉大君: 昔の人は、今は無い履物とかを履いている。道も悪かつたのに足の裏とか痛くなかつたのかな、と思いました。

Q:孫の滉大君達の暮らしを見ていてどうですか？
—夫さん: とても話になんないし、食い物はいいし、着る物もいいし、履物だつていいし。頭だつて、私よりいいな。自分たちの頃は、勉強より食い物だつたもんなあ。

(写真・文責: 菅 敬造)

不思議な話

天野君子さん

(昭和十四年生まれ、柳津町西山、牧沢)

昭和三十七年に嫁にきてからのことだ。今、地熱発電所がある場所の裏山の下、ヤチザフでじいちゃんが炭焼きをやつていた。焼いた炭を背負い出して道路まで運ぶのがオレの仕事だつた。炭焼き小屋までは牧沢からふた山ぐらい越えて行かなければならないが、よく知っている道だ。その日も、オレは一人で炭を背負い出しに出かけた。ところが、いくら歩いても炭焼き小屋にたどり着けないんだ。どうちゃんが耕運機で炭を取りに来たので、オレは「道がねえだわい」と言つて、どうちゃんと一緒に歩き出した。今度は炭焼き小屋まで行けた。あれはたしかにキツネだ。姿は見えなかつたが、あの辺はよくキツネが出ていた場所だから。

奥会津の食材と料理

梅ジャムの葛まんじゅう



遅霜に遭った今年の梅は、とりわけ貴重だ。

傷のある梅は何度も水を変えてアクを抜き、砂糖で煮詰めてジャムにする。

ジャムを葛で包んで冷やし、日盛りのお茶うけにすると、梅のほどよい酸味とツルンとした食感が暑さを忘れさせてくれる。

暦に添う暮らし

畑を守るカラスと案山子



87歳のおばあさんが手作りした案山子たち。自分と、亡くなった夫に似せた案山子はいつも語り合っている。その隣には無残に吊り下げられたビニール製のカラス。カラスの行く末を暗示した見事な造形だ。作物が実るこの時期になると、毎年畑に現れる。

初夏、只見川や支流の河原で、チーリーリーとさわがしく鳴きながら飛びまわる。磯にいるシギという名前だが、内陸の水辺でもよく見られる。着地すると、周囲の石に融けこんで見失いやすい。まるで河原の忍者のよう。



イソシギ

奥会津の生き物と草花

写真・文…新国 勇



コンジシモツケソウ

つよい日差しの中、沢筋の湿った場所に群生する。鮮やかなピンク色は、ごはんにかける桜でんぶを連想させる。繊細に見えるのは、たくさんのおしべが飛び出ているから。越路下野草というとおり日本海側に自生する。

子どものいる風景

写真・文 竹島 善一

村の盆踊りで呼び物の余興は仮装大会である。女装の麗人が受付のデスクに立つ。鼻筋に引いた白粉（おしろい）と、母親に連れられた子どもの浴衣が、わずかな照明に映える。

（昭和五十二年八月 昭和村）



Q方言クイズ

クイズに答えて奥会津の地場産品を貰おう!

問題：次の方言の意味は何でしょう?

「あしなか」

ヒント：P2. 聞き書きをご参照下さい。

正解者の中から抽選で2名様に、柳津町の「桐の卓上まな板」をプレゼントいたします。

●応募方法：官製ハガキに奥会津だよりの感想、住所、氏名、電話番号を明記の上、答えをお書きください。

●あて先：〒969-7511

福島県大沼郡三島町大字宮下字中乙田979
奥会津書房 宛

●応募締切：2016年8月15日消印有効

※当選者の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。※クイズの答えは次号94号で発表いたします。



◎92号「デコサッコ」の答え：大根のおやつ

たくさんのご応募ありがとうございました!

読者コーナー



- 会津奥地での生活は日本の原風景。貴重な歴史の証言。大事に守っていきたいと思います。(東久留米市 S.Tさん)
- 昭和生まれにとって「聞き書き百選」がとても懐かしく感じられます。時代は流れたけれども……。今だって、時が流れば懐かしいものになるのだろうか。(桧枝岐村 H.Iさん)
- (92号で) 学生時代に旅先で出会った青い鳥の名前がわかりました。そしてマキノスミレ。私の尊敬する牧野富太郎に関係するとは。また知識を深めました。(会津若松市 K.Kさん)
- 人を想う、故郷を慕う丁寧なあなたかみを感じました。どれもこれも今どきらしくないのに未来も思っているような新しい内容で、正直びっくりしました。これって会津人の仕事ぶりでしょうか。(千葉県印西市 N.Sさん)

奥会津だよりの定期購読者募集中

ご希望の方は事務局まで発送先(ご住所・お名前)をご連絡ください。

問い合わせ先：只見川電源流域振興協議会事務局

TEL.0241-48-5525 FAX.0241-48-5575

E-mail: webmaster@okuaizu.net



奥会津ロックフェスティバル 2016

日時：8月27日(土) 11:00 ~ 19:00(予定)
場所：美坂高原特設会場

奥会津人材育成講座 会場変更のお知らせ

8月25日(木)に金山町開発センターで開催予定であった「東北の取り組み」は三島町町民センターで開催となります。お間違えの無いようお気をつけください。

奥会津イベント情報

8月~9月

日時	イベント名	町村名	場所	問合せ
8月6日(土)	大桃夢舞台	伊南地域	大桃の舞台	南会津町観光物産協会伊南観光センター ☎0241-64-5711
8月6日・7日(土・日)	第40回沼沢湖水まつり	金山町	金山町 沼沢湖畔	沼沢湖水まつり実行委員会(金山町観光物産協会) ☎0241-42-7211
8月10日(水)	霊まつり大法要、稚児行列、流灯花火大会	柳津町	大法要・稚児行列：円蔵寺 流灯花火大会：道の駅会津柳津裏只見川沿い	柳津観光協会 ☎0241-42-2346
8月18日(木)	鎮守神祭礼奉納歌舞伎	檜枝岐村	檜枝岐の舞台	尾瀬檜枝岐温泉観光協会 ☎0241-75-2432
8月27日・28日(土・日)	第7回尾瀬檜枝岐ぶなの森ウォーク		檜枝岐村内	
9月1日(木)	伊南川刺し網解禁	伊南地域	伊南川	南会津西武非出資漁業協同組合 ☎0241-72-2110
9月3日(土)	南郷豊年まつり	南郷地域	福島県立南会津高等学校	南会津町商工会南郷支所 ☎0241-72-2041
	第32回唱歌舞伎の夕べ	檜枝岐村	檜枝岐の舞台	尾瀬檜枝岐温泉観光協会 ☎0241-75-2432
9月4日(日)	只見駅前通りウキウキわいわいフェスタ	只見町	只見駅前通り	只見駅前通りウキウキわいわいフェスタ実行委員会(只見振興センター内) ☎0241-82-2141
	南会津そばウォーク	館岩地域	たかつえスキー場	南会津町観光物産協会館岩観光センター ☎0241-64-5611
9月5日(月)	山入近隣会 芸能発表会(山入歌舞伎)	金山町	芸能伝承館	金山町教育委員会 ☎0241-54-5360
9月10日・11日(土・日)	古町のまつり	伊南地域	古町通り	南会津町観光物産協会伊南観光センター ☎0241-64-5711
9月17日(土)	歩行者天国イベント「Mon★Ten」	柳津町	柳津町寺家町地内	柳津町役場観光商工班 ☎0241-42-2114
	たていわちそばキャンペーン	館岩地域	館岩広域観光案内所前	南会津町観光物産協会館岩観光センター ☎0241-64-5611
9月24日(土)~ 10月9日(日)	山人・秋まつり	檜枝岐村	檜枝岐村内(旅館・民宿)	尾瀬檜枝岐温泉観光協会 ☎0241-75-2432
9月30日(金)	九月堂おこもり	柳津町	福満虚空蔵菩薩圓蔵寺	柳津観光協会 ☎0241-42-2346



発行：只見川電源流域振興協議会(柳津町・三島町・金山町・昭和村・只見町・南会津町(南郷、伊南、館岩地域)・檜枝岐村)
発行日：7月15日発行(年6回発行) 事務局：〒969-7511 福島県大沼郡三島町町民センター(奥会津振興センター内) TEL.0241-48-5525
http://www.okuaizu.net ☐webmaster@okuaizu.net 編集：奥会津書房 福島県大沼郡三島町宮下 TEL.0241-52-3580

★只見川電源流域振興協議会は、福島県只見川流域の7町村の活性化と振興を図るために活動している団体です。

この冊子は電源立地地域対策交付金の事業により作成されています。